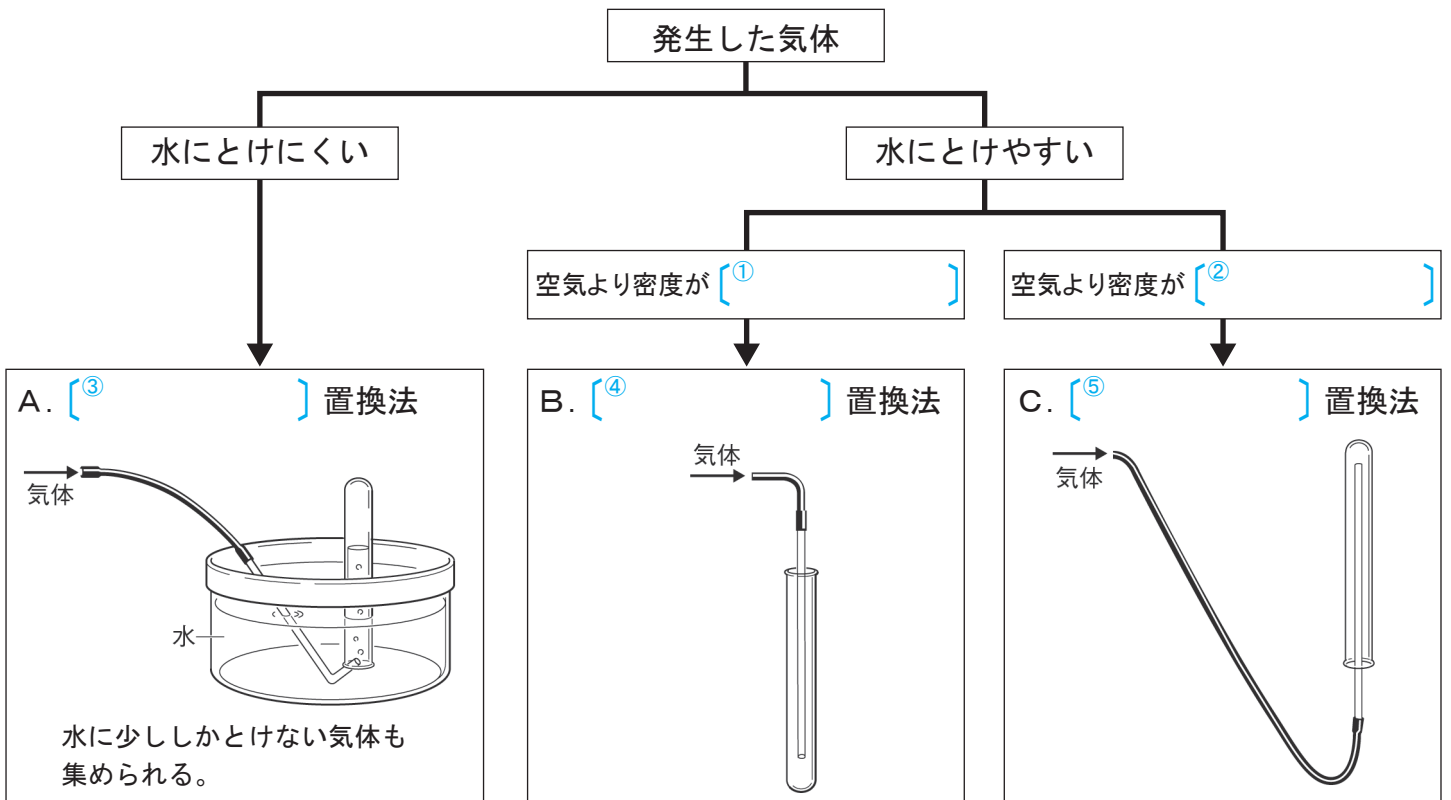


気体の発生と性質 (1)

【1】次の文章の()に当てはまる言葉を書か、○でかこみなさい。

- (1) 気体には、水にとけやすいものと、とけにくいものがある。また、空気より(①)
 が大きい(重い)ものと、小さい(軽い)ものがある。
- (2) 水に(とけやすい・とけにくい)気体は水上置換法すいじょうちかんほうで集められる。空気より①が
 (大きい・小さい)気体は下方置換法かほうちかんほう、(大きい・小さい)気体は上方置換法じょうほうちかんほうで
 それぞれ集められる。
- (3) 酸素の中に火のついた線香を入れると、激しく燃える。これは酸素に
 (ものを燃やす・それ自体が燃える)はたらきがあるからである。
- (4) 二酸化炭素には石灰水せっかいすいを(②)にござせる性質がある。
- (5) アンモニアに水でぬらした赤色のリトマス紙をふれさせると、青色に変化する。これは、
 アンモニアが水に溶けると(酸性・中性・アルカリ性)を示すからである。
- (6) 発生した気体のにおいを確かめるときは、保護メガネをかけて、容器を顔に近づけ過ぎず、
 (手であおいで・直接)かぐ。

【2】図を見て、以下の問題に答えなさい。



- (1) 図の []に当てはまる言葉を書きなさい。
- (2) 二酸化炭素は水に少しとけ、密度は空気の1.53倍である。二酸化炭素を集めるのに適しているのは図のA～Cの集め方のうちどれか、当てはまるものをすべて記号で書きなさい。

答え ()